

3/1 ~ 3/19 町内の小中高校で卒業式を挙行  
それぞれの未来に向かって旅立つ

やわらかな日差しに春の訪れを感じる3月。町内の小中高校では、それぞれ卒業式が挙行されました。

七ツ森小学校（菅原由香里校長、児童数81人）の卒業式は19日に行われ、菅原校長は「今年1年の取り組みを通し、皆さんは七ツ森地域を宇宙一の絆で結びつけました。これからも多くの人たちとの絆を結んでください。皆さん一人一人が結んだ絆が広がれば、新たな、強く深い宇宙一の絆になるはずです」とはなむけの言葉を贈りました。晴れて卒業を迎えた6年生8人は少し大人びた表情で、両親や先生、在校生や地域の皆さんへ6年間の感謝を伝えました。

2025年度の卒業生は小学校が5校合わせて99人、栗石中学校が122人、栗石高校が20人。卒業生たちは、これまでの学び舎を後にし、それぞれの明日へと旅立ちました。



▲笑顔で卒業証書を受け取る卒業生（七ツ森小・19日）



▲晴れやかな表情で固い握手を交わす（西山小・17日）



▲6年間の思い出を振り返る（御明神小・17日）



▲笑顔で卒業を報告（栗石小・18日）



▲凛々しい表情は成長の証（御所小・18日）



▲答辞を読み上げる卒業生代表（栗石高・1日）



▲3年間の思いを込めた合唱（栗石中・12日）

特集

なないろ便り

人の動き・お知らせ

教育

観光・スポーツ

子育て

Town News

特集

なないうるべり

人の動き・お知らせ

教育

観光・スポーツ

子育て

Town News



▲素晴らしい成績を残した雫石ダンススタジオの皆さん(学校名と学年は大会当時)

### 2/22~2/23 第21回全国ダンスコンペティション in 仙台2026 雫石ダンススタジオの小学生が最優秀賞

宮城県仙台市で行われた標記大会のアンサンブル部門で、雫石ダンススタジオ所属の高橋菜々花さん(雫石小6年)岩瀨莉心さん(見前小6年)のデュエットが最優秀賞、前田望瑛さん(雫石小4年)我妻蓮鳳さん(西山小3年)岩瀨陽菜さん(見前小3年)のトリオが3位に輝きました。また、ソロ部門では坂松花穂さん(緑が丘小4年)をはじめ、出場した小学生全員が入賞し、宮城県洋舞団体連合会奨励賞を受賞しました。

### 3/7~3/15 春のしずくしいし工房まつり開催 町ゆかりの作家の工芸品が並ぶ

町観光物産センター(JR雫石駅1階)で春のしずくしいし工房まつりが開催されました。町内の18工房の作品を一堂に会し展示販売。一年で最も多くの作品が集まる機会に、訪れた人はそれぞれの工房の技術や芸術性の高さに目を凝らしていました。期間中に行われた亀甲織製作体験も好評。自分だけのキーホルダーやミニトレイを作り上げる体験は、手づくりの温もりを感じられる機会となりました。



▲陶器や木工品、織物などの多彩な品が来場者を楽しませた



▲町長を表敬訪問した米澤さん

### 3/16 米澤ヨシ子さんに総務大臣表彰 公正な選挙執行に長年尽力

町選挙管理委員会委員として長年にわたり尽力された米澤ヨシ子さん(赤滝)に対し、総務大臣から表彰状が贈呈されました。米澤さんは2004年から2024年まで町選挙管理委員を務め、豊富な経験と適切な判断力で、公正な公職選挙の管理執行に努められました。国民参政135周年、普通選挙100周年および婦人参政80周年の節目に際し、長年の功績が讃えられ、今回の総務大臣表彰となりました。



地域農業の発展に取り組む優れた農業者として、笹田明誠さんが岩手県より青年農業士に認定。猿子町長に報告しました。



雫石駅冬まつり2026が開催。eスポーツ大会や駅ナカ縁日、パン作りワークショップなど、雫石駅が遊び場になった1日でした。



町は岩手八幡平歯科医師会と「災害時の歯科医療救護活動に関する協定」を締結。災害時の歯科医療の支援体制が強化されました。

# 雫石町新採用職員

4月から採用された5人の新採用職員。これから知識・経験を重ね、町民の皆さんのために、雫石町発展のために尽力していきます。



吉田 茉央主事 (学校教育課)

地元雫石町で働くことを心から嬉しく思います。町民の皆様が安心して暮らせるより良い地域づくりのために精一杯尽力して参りますので、どうぞお願いいたします。



佐々木 海斗主事 (福祉課)

雫石町の発展の一助となれるよう、積極的に挑戦し、学びの心を忘れずに業務に励んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



芳賀 優太主事 (税務課)

初心を忘れず、何事にも前向きに挑戦しながら、町民の皆さまに信頼される職員を目指して日々成長してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



四ツ家 蒼斗主事 (農林課)

育てていただいた故郷への貢献を志し入庁いたしました。町の振興のため、日進月歩で実力をつけ、全力で職務に励んで参ります。何卒よろしくお願いいたします。



佐々木 真琴主事 (福祉課)

雫石町職員として信頼される存在を目指し、町の発展に貢献できるよう日々精進してまいります。至らぬ点もあるかと存じますが精一杯努めますのでよろしくお願いいたします。

## 「長い間お世話になりました」

### 2025年度町職員退職者

- 岩崎 千穂 (町民課主幹)
- 澁田 陽一 (健康推進課係長)
- 古館 謙太郎 (上下水道課係長)



## あとがき

●この4月号をもって、広報担当を卒業することとなりました。町の魅力や人の温かさに触れた、あっという間の2年間。取材先での何気ない会話や、皆さんの笑顔が心に残っています。関わってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも広報しずくしをどうぞよろしくお願いいたします。(藤)

●撮影のため小学校の卒業式にお邪魔しました。全くの部外者でしたが、卒業生たちの立派な姿や別れを惜しみ涙する在校生、声を詰まらせる保護者、子どもたちに対する先生方の温かいまなざしを見て盛大にもらい泣き。最近涙腺が緩くなる一方なので、来年は別人に撮影を頼もうか思案中です……(高)

雫石町公式エックス▶ @shizukukouhou  
防災行政無線が聞き取れなかったときは…  
電話応答サービス▶ 019-692-6371 をご利用ください。

## きしゃくし 「木杓子製作道具」

町歴史民俗資料館の収蔵品をご紹介します!



▲木杓子を作るための道具



▲木杓子

町歴史民俗資料館 (西安庭 15-39-7、木曜日定休)

今回紹介する資料は木製のお玉「木杓子」を制作する道具です。町は、地域に多い雑木の利用を考えた高橋弥兵衛氏により、木杓子の製作が始められたそうです。宮城県古川で木杓子作りを学び、帰郷後は御所杓子の改良に努めました。鍛冶屋と協力して道具も改良し、より良いものを追求しました。

